

平成 24 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 パナソニック株式会社  
(URL <http://panasonic.co.jp/>)  
(コード番号 6752 東証・大証・名証第一部)  
代表者名 取締役社長 大坪 文雄  
問合せ先 財務・IRグループ  
グループマネージャー 水野 省三  
(TEL 06-6908-1121)

## 連結通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成 24 年 2 月 3 日に公表した平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の連結通期業績予想と実績に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1．連結通期業績予想数値と実績値との差異（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,000,000	30,000	820,000	780,000	円 銭 337 33
実 績 値 (B)	7,846,216	43,725	812,844	772,172	333 96
増 減 額 (B - A)	153,784	13,725	7,156	7,828	
増 減 率 (%)	1.9%	45.8%	-	-	
(ご参考)前年実績	8,692,672	305,254	178,807	74,017	35 75

#### 2．連結通期業績予想数値と実績値との差異の理由

売上高は、国内外における需要低迷の影響などにより、前回公表した業績予想を下回りました。一方、利益につきましては、営業利益は、売上減の影響はありましたが、徹底した固定費削減などを推進したことにより前回業績予想を上回り、税引前利益・当社株主に帰属する当期純利益も前回公表した業績予想から改善することが出来ました。

< 将来見通しに関するリスク情報 >

業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照ください。

- ・ 主要市場（日本、欧米、中国およびアジア等）の経済状況および製品需給の急激な変動
- ・ 産業界・消費者の需要動向
- ・ ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の大幅な変動
- ・ 資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- ・ 急激な技術変化等による社会インフラの変動
- ・ 他企業との提携または M&A（パナソニック電工および三洋電機の完全子会社化後の事業再編を含む）で期待どおりの成果を上げられない可能性
- ・ パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向
- ・ 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持するパナソニックグループの能力
- ・ 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- ・ 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- ・ 諸外国による貿易・通商規制、労働・生産体制関連への規制等（直接・間接を問わない）
- ・ 保有する有価証券およびその他資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針の変更
- ・ 地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、その他の事業活動に混乱を与える可能性のある要素
- ・ 東日本大震災およびタイで発生した洪水が、パナソニックグループに直接または間接に与える影響

以 上